

# 1. はじめに

## ●都市計画とは

都市計画とは、人々が住み働くまちを、より健康で文化的、かつ機能的で安全なまちとして発展させるために、まちなみを計画的に誘導し、秩序あるまちの形成を図っていくための制度です。

## ●都市計画区域とは

都市計画区域とは、人や物の動き、まちの発展を見通し、地形などからみて、一体のまちとして、総合的に整備・開発及び保全することが必要な区域として、「都市計画法」という法律に基づいて定められた区域のことを言います。

主にこの都市計画区域で都市計画が策定され、さまざまな都市計画事業が施行される場となり、一方では建築を行う場合に制限が課せられることとなります。

### 建築を行う場合に制限が課せられる

今回のポイントはこれ！！都市計画で住みよいまちづくりをすすめていくために必要なルールのことだよ。

「制限」と聞くとちょっと難しく考えてしまうかもしれないね。でも「ルール」と聞くとどうかな？

たとえば交通ルールでは、赤信号は「止まれ」、青信号は「進め」だね。これはみんなが自然に、当たり前を守っているルールだよな。

都市計画区域の建築のルールは「安全で住みやすいまちづくりのために、誰もが守るべきルール」とされているんだ。

だからこのルールも交通ルール同様「当たり前のこと！」と思ってほしいな。



## ●建築基準法

安全で住みやすいまちづくりのために、誰もが守るべきルールとされているのは「建築基準法」という法律によるルールのことを言います。

この法律は、建築物の敷地、構造・設備及び用途に関する最低の基準を定め、国民の生命・健康・財産の保護を図り、公共の福祉の増進に資することを目的として定められています。

具体的には「建物を建てる際の周辺への配慮に関するルール」と、「建物の構造に関するルール」になります。

建物周辺に関するルール	建物の構造に関するルール
敷地に関すること（接道義務）	屋根・外壁の耐火構造など
大きさに関すること（建ぺい率・容積率） （日影規制）など	